

令和6年度事業計画

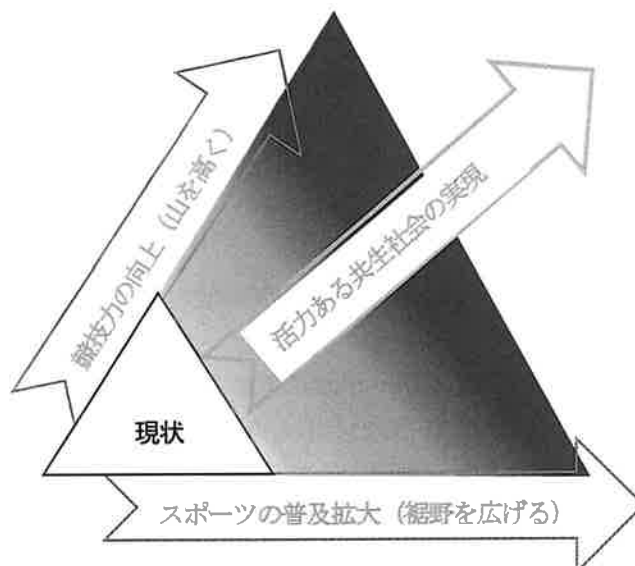
《基本方針》

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会は、本県の障がい者スポーツ統括団体として、加盟団体と協力しながら障がい者の心身の健康の保持増進や社会参加を促進し、スポーツを通して幸福で豊かな営みを支援するとともに、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に寄与することを目的としています。

このため当協会では、さらなる公共性や透明性の確保に努め、県内在住の日本代表等の障がい者アスリートを育成するとともに、障がい者スポーツの普及と振興、障がい者スポーツに対する県民の各界各層の応援や支援の輪を広げる必要があります。

2028年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会に向け、競技力の向上のため選手の発掘・育成・強化、指導者の確保が課題ですが、2028大会を契機に、障がい者が住み慣れた地域で健常者とともに様々なスポーツを楽しめる環境づくりをすすめることを念頭に、加盟団体と成果や課題を共有し事業に取り組む必要があります。

また、公益財団法人として寄附税制上の優遇措置が講じられることから、引続き寄附者（賛助会員を含む）を拡大し財政基盤の充実を図るとともに、事務局体制の充実をすすめます。



JPSA「2030年ビジョン」より

《事業の内容》

I 事業の実施

1 各種大会の企画、運営

(1) 全国障害者スポーツ大会派遣事業 (20,784千円) (県からの受託事業)

ア 長野県選手団の派遣

令和6年10月26日(土)～28日(月)に佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会へ長野県選手団を派遣します。

- ・ 個人競技選手 38名
7競技：陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ
- ・ 団体競技 未定
7競技：北信越・東海ブロックの地区予選大会(R6.4～6)の優勝チームが出場
- ・ 役員 34名+団体競技役員

イ 全国大会出場者の強化練習

第23回全国障害者スポーツ大会個人競技の出場選手を対象に、記録会・強化練習を行います。

- ・ 第1回 令和6年5月25日(土)~26日(日)、6月1日(土)~2日(日) サンアップル他
- ・ 第2回・3回 7~9月、競技毎に実施
- ・ 第4回 令和6年10月5日(土)または6日(日) サンアップル他

※ 団体競技については、出場が決定した場合は競技毎に強化練習を実施

(2) 団体競技地区予選等派遣事業 (4, 149千円) (県からの補助事業)

第23回全国障害者スポーツ大会等の地区予選会への選手・役員派遣を支援(参加費補助)します。

- ・ 車いすバスケットボール (身体障害者)
- ・ バレーボール (身体・知的・精神障害者)
- ・ グランドソフトボール (身体障害者)
- ・ F I Dバスケットボール (知的障害者)
- ・ サッカー (知的障害者)
- ・ フットベースボール (知的障害者)
- ・ ろうあ者体育大会：野球競技 (聴覚障害者)

(3) 障がい者スポーツ大会の運営

県と共催で、第24回長野県障がい者スポーツ大会を、令和6年9月7日(土)~9月29日(日)に、松本市、長野市ほかで開催します。参加者がコロナ禍前に比べ2/3に大幅に減少していることに加え、松本平広域公園陸上競技場の建替工事に伴い県内各地での分散開催となることから、ひとり複数競技に出場可能とするほか、市町村や特別支援学校との連携を強化し、参加者を着実に増やせるよう準備を進めます。

(4) 長野車いすマラソン大会運営事業 (20, 657千円) (実行委からの受託事業、一部自主財源)

実行委員会(県、長野市、信毎、当協会等で構成)から受託し、第20回長野車いすマラソン大会を令和6年4月21日(日)に長野市で開催します。

- ・ 参加選手 46名(うち招待選手5名(過去大会の優秀成績選手等))
- ・ 競技以外の事業 フォトコンテスト
学校や企業での車いすアスリート講演会
大会ポスター等の制作・配布、ピンバッジ制作・販売

2 地域コーディネーター活動事業(4, 388千円) (県からの補助事業)

障がい者が地域の身近な場所で運動・スポーツに参加できる機会の拡大とスポーツを通じた共生社会づくりを強力に推進するため、地域のスポーツ団体等の相互連携の調整役を担う「地域コーディネーター」を配置(1名)します。

- ・ 障がい者に対する運動・スポーツの喚起(意義の発信)やスポーツに関する情報提供
- ・ 一般スポーツ団体等への受入れ働きかけ、相談、指導者紹介や地域の支援者ネットワークづくり
- ・ みらいアスリートディレクターとの連携による、子どもたちが継続して競技に携われる支援

3 みらいアスリート育成支援事業（13,552千円）（県からの補助事業）

2028年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会で本県選手が活躍できるよう、選手発掘及び競技力の向上が急務となっています。選手の競技力を向上させ、全国障害者スポーツ大会で好成績を残すためには、地域に埋もれている才能のあるアスリートの発掘・育成を行う必要があります。同時に、競技団体の活動強化、競技環境の整備を図っていく必要があります。

障がい者スポーツに精通した「みらいアスリートディレクター」（2名）を配置し、障がい者スポーツ地域コーディネーターや長野県障がい者スポーツ指導者協議会と連携しながら、みらいアスリートの発掘、スポーツを継続するための支援、競技団体への支援を行います。

4 指導者養成研修事業（468千円）（県からの受託事業、一部自主事業）

初級パラスポーツ指導員養成研修会を昨年同様に2回実施し、パラスポーツ指導員の養成に努めます（主な対象としては、総合型地域スポーツクラブや一般競技団体等）。

- ・ 実施時期 令和6年7月、令和7年1月の2回（各4日間予定）
- ・ 開催場所 サンアップル、南信（伊那市を予定）
- ・ 受講予定者数 60人

5 競技団体支援事業（7,065千円）（県からの補助事業、一部自主財源、特定費用準備資金）

（1）普及強化委員会

開催時期 2月（予定）

（2）競技団体への助成

協会加入の30競技団体の選手の強化・育成と競技の普及を促進するため、強化練習・選手派遣・用具整備・競技普及・指導者等養成・大会開催等の5分野への助成を拡充するほか、一般競技団体との連携の強化に努めます。

また、長野県と協力して2028年に開催される全国障害者スポーツ大会の審判・運営要員の育成を進めます。

6 パラアスリート育成支援事業（3,274千円）（県からの補助事業）

長野県の障がい者スポーツの牽引役となる、パラリンピックやデフリンピック等への出場を目指すトップレベルの選手を育成するため有望選手の育成を支援します。

7 地域スポーツ活動支援事業（800千円）（自主財源）

（1）キッズ支援事業

日頃スポーツをする機会が少ない障がいのある子どもたちを支援するため、スポーツを通じて心身の健康づくりと障がいの有無を越えて、同世代の子どもたちとの交流を図り、社会参加を促進します。

- ・ パラスポーツ体験会・ダンス教室・野球教室等

(2) **新**パラスポーツ体験会

様々なスポーツを体験する「パラスポーツ体験会」を協会加盟競技団体、理学療法士会、及び長野県障がい者スポーツ指導者協議会等と協力して県内4地区で開催します。

(3) 指導者派遣事業

小学校のスキー教室をはじめ、学校、福祉施設、地域等の要望に応じて、障がい者スポーツ指導員を派遣し、障がい者が様々なスポーツ体験ができるよう支援するため、長野県障がい者指導者協議会と連携し、パラスポーツ指導者の実践的な研修・育成を充実します。

(4) スポーツ用具貸出事業

障がい者スポーツ競技用具の他、障がいがある人もない人も、子どもも高齢者も簡単に楽しむことのできるニュースポーツ等の協会所有のスポーツ用具を貸し出します。

(5) 連携協力協定

平成19年(2007年)8月7日に締結した、清泉女学院大学・同短期大学との連携協定に基づき、ボランティア講座や体験会を行うとともに、計画的に活動への参加を進め、スポーツ、文化の幅広い分野で連携を深めます。

8 アスリート講師派遣事業 (100千円) (自主財源)

次の時代を担う小中学生等の障がい者及び障がい者スポーツへの理解を促進するため、障がいを持つアスリートを小中学校や企業等へ派遣し、講演会、交流会を開催します。

9 トップアスリート支援事業 (600千円) (自主財源)

パラリンピック・デフリンピック等の国際大会を目指すトップアスリートを支援します。

支援金交付実績

年 度	交付対象者
令和元年度	個人 1名
2年度	該当者なし
3年度	個人 5名
4年度	個人 1名
5年度	個人 2名(予定)

II 協会の運営（事務局人件費、物件費計31,842千円）（県からの補助事業、一部自主財源）

1 会議の開催等

- ・ 理事会 3回（開催時期 6月（決算等審議）、7月（役員改選）、令和7年3月（予算等審議））
- ・ 評議員会 2回（ 〃 6月（決算等審議）、令和7年3月（予算等審議））
- ・ 専門委員会 1回（ 〃 2月） ※ この他「専門部会」を数回開催

2 寄附者及び賛助会員の確保

新たな寄附者の開拓を図るため、企業等を訪問するほか、広く県民から賛助会員を募り、県民の障がい者スポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図ります。

〈賛助会員の状況〉

区 分		現会員数（R6.2末現在）	令和6年度末見込会員数
賛助会員	個 人	135人	160人
	団 体	103団体	110団体

3 情報発信、PR事業（1,000千円）（自主財源）

障がい者スポーツに関する各種の情報（スポーツの機会、大会情報、競技団体など）を提供します。

- ・ 会報誌の発行（年3回）
- ・ 協会ホームページの管理、更新
- ・ SNS（LINE、インスタ等）の充実

4 協会表彰事業（200千円）（自主財源）

県内の障がい者スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を対象に、その功績を称え、表彰を行います。

令和6年度 収支予算書

(資金収支 収入の部)

(単位:千円)

大科目	中科目	予算額	前年度予算額	比較増減	説明
1 補助金収入	事務局運営費補助金	31,642	30,568	1,074	人件費 27,500 物件費 4,142
	団体競技地区予選等派遣事業補助金	4,149	3,774	375	県補助金
	競技団体強化事業補助金	3,675	3,274	401	県補助金
	地域コーディネーター設置事業補助金	4,388	4,217	171	県補助金
	みらいアスリート育成支援事業補助金	13,552	12,817	735	県補助金
	パラアスリート育成支援事業費	3,274	3,274	0	県補助金
	計	60,680	57,924	2,756	
2 助成金等収入	その他民間助成金	1,000	0	1,000	サントリー奨励金500 赤い羽根共同募金500
	計	1,000	0	1,000	
3 委託金等収入	全国障害者スポーツ大会派遣事業県委託料	20,784	19,116	1,668	県委託料
	指導者養成研修事業県委託料	468	468	0	初級養成(7月・12月)2回開催予定
	計	21,252	19,584	1,668	
4 負担金収入	負担金	440	440	0	県障がい者スポーツ指導者協議会150 加盟競技団体290
	負担金(車いすマラソン大会)	15,987	15,987	0	車いすマラソン実行委員会より負担金14,387 信濃毎日新聞社協賛金1,600 (繰越金4380 除く)
	計	16,427	16,427	0	
5 寄付金収入	寄附金	1,420	1,200	220	セイコーエプソンほか
	賛助会費	1,880	1,700	180	
	計	3,300	2,900	400	
6 雑収入	雑収入	290	250	40	車いすマラソン参加料250 ビン/バッジ売上35 その他5
	その他雑収益	50	50	0	
	計	340	300	40	
事業活動収入		102,999	97,135	5,864	

(資金収支 支出の部)

(単位:千円)

大科目	中科目	予算額	前年度予算額	比較増減	説明	
事業活動支出	1 事業費	全国障害者スポーツ大会派遣事業	20,784	19,116	1,668	県委託料
		団体競技地区予選等派遣事業	4,149	3,774	375	県補助金
		地域コーディネーター設置事業	4,388	4,217	171	県補助金
		みらいアスリート育成支援事業	13,552	12,817	735	県補助金
		指導者養成研修事業	468	468	0	県委託費
		競技団体支援事業費	7,065	5,364	1,701	補助金3675 自主財源1100 負担金280 庫庫金1500 赤い羽根500
		トップアスリート支援事業	600	100	500	有望選手を支援(自主財源100 サントリー奨励金500)
		地域スポーツ活動支援事業	800	1,200	△ 400	キッズ事業(キャンプから体験会へ移行)(自主財源)指導者派遣(自主財源)
		アスリート講師派遣事業	100	100	0	自主財源
		情報発信・PR事業	1,000	1,000	0	自主財源
		協会表彰事業	200	200	0	自主財源
		パラアスリート育成支援事業	3,274	3,274	0	県補助金
		車いすマラソン大会事業	20,657	22,458	△ 1,801	実行委員会負担金15,987 参加料250 グッズ売上35 その他5 ※繰越金4380含む
	計	77,037	74,088	2,949		
	2 管理費	事務局人件費	27,500	26,426	1,074	事務局長1、中核職員1、プロパー3、
事務局物件費		4,342	4,342	0	補助金 4,142 自主財源 200(負担金150 雑収益50)	
計		31,842	30,768	1,074		
事業活動支出計		108,879	104,856	4,023		
事業活動収支差額		△ 5,880	△ 7,721	1,841		
投資活動収入	特定資産取崩収入	競技力向上等準備資金取崩収入	1,500	1,500	0	
		車いすマラソンコース検定積立金取崩収入	0	2,000	△ 2,000	
	計	1,500	3,500	△ 2,000		
投資活動収入計		1,500	3,500	△ 2,000		
投資活動支出	特定資産積立支出	退職給付引当資産取得支出	735	585	150	
		車いすマラソン積立資産取得支出	400	0	400	
	投資活動支出計	1,135	585	550		
投資活動収支差額		365	2,915	△ 2,550		
当年度収支差額		△ 5,515	△ 4,806	△ 709		